

としよかん だより

2023.2 No.180



長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ <https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページスマホ版

Topic

■返し忘れていた本はありませんか？

ご自宅に返し忘れた本やDVDなどをお持ちではないでしょうか。

図書館または市内のふれあいセンターなどの図書室で返却できますので、どうぞご利用ください。

(CD・DVDは、お借りになった図書館・図書室の窓口でご返却ください)

Information

図書展示

- 1階特集展示 アートの世界へ誘う(～2/12)
科学道100冊 2022(2/15～)
- 1階特別展示 3年ぶりに開催！長崎ランタンフェスティバル2023(～2/5)
- 2階特集展示 「お金」ってなに？
- 2階特別展示 長崎検定に挑む！2023(～2/5)
- YA特集展示 カラフルに生きる(2/2～)
- YA投稿展示 卒業宣言!(2/2～)
- 児童特集展示 ねこ 大集合だにゃん♪
- 児童ミニ展示 鬼はそと！福はうち！節分のおはなし(～2/3)
おおきくなあれ!(2/4～)



イベント

世界とつながるファッションショー

2月26日(日) 13:00～17:00

多目的ホール 定員80名



QRコードを読み込み、
お申し込みください



パリの中学校を舞台に、国籍や宗教の違いを乗り越える学生たちの姿を描いたドキュメンタリー映画『バベルの学校』を上映します。終了後、長崎に住む大学生や外国人の方がモデルとなり、民族衣装によるファッションショーを開催します。

主催：JICAデスク長崎(九州センター)、
活水女子大学「つなぐfrom活水」サークル
共催：長崎市立図書館、長崎県青年海外協力協会

開館状況やイベントの詳細・開催状況は、図書館のホームページまたは館内のポスターを確認ください。

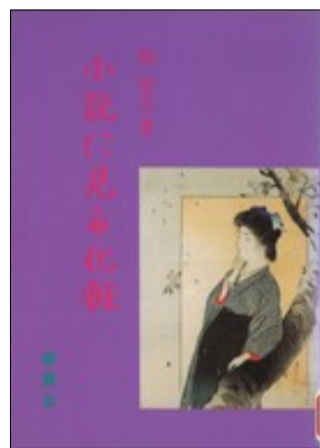
身なりを整えたり飾ったりする装い。その種類や目的はさまざま。装いの変遷や、それぞれの時代の文化・美意識を垣間見る。



江戸の女装と男装

渡邊 晃/[編]著
太田記念美術館/監修
青幻舎
2018年刊
ラベル：721.8エ(2階フロア)

吉原俄、山王祭、神田祭といった祭礼における異性装や、歌舞伎の女形などを描いた浮世絵。その様子から、江戸時代の風俗・文化に迫る。



小説に見る化粧

陶 智子/著
新典社
1999年刊
ラベル：910.26スエ(2階フロア)

谷崎潤一郎や宇野千代などの近現代作家の文学に見る化粧論。作品の文章を引用しながら、化粧の方法やその描写、作家の美意識などを読み解く。



セーラー服の誕生 女子校制服の近代史

刑部 芳則 /著
法政大学出版局
2021年刊行
383.1オ(2階フロア)

近代化の象徴としての洋装は、当初、女性にはなかなか普及しなかった。しかし、大正末期から昭和にかけて、高等女学校がセーラー服を制服にしたのを機に一気に拡がりをみせた。本書は、全国ほぼ全ての高等女学校の制服について、特色や地域性などを調査した著者の集大成。



ジャパンファッションクロニクル インサイトガイド 日本現代服飾文化史 1945～2021

日本服飾文化振興財団/[編]
講談社エディトリアル
2022年刊
ラベル：383.1ジ(2階フロア)

戦後75年にわたる日本の服飾文化の歴史をたどる。時代背景や社会潮流などと共に、若者が生み出したファッションの流行を分析する。



メガネの歴史 フォトグラフィー

ジェシカ・グラスコック/著
黒木 章人/訳
原書房
2022年刊行
535.8グ(2階フロア)

必需品か、それとも贅沢品か。13世紀に誕生した世界初の老眼鏡から片メガネ、オペラグラス、サングラス。いまやファッションアイテムとしても、わたしたちの生活にお馴染みのものになった眼鏡の意外で奥深い歴史をたどる。



ファッションから名画を読む カラー版

深井 晃子/著
PHP研究所
2009年刊
ラベル：723フ(2階フロア)

西洋絵画に描かれた装いは、描かれた当時の美意識や社会構造などを浮き上がらせることがある。ルネサンス期から19世紀末までの西洋絵画を中心に、服飾と絵画の関わりを述べる。